

2024年5月28日

各 位

会 社 名 パ ン チ 工 業 株 式 会 社
住 所 東 京 都 品 川 区 南 大 井 六 丁 目 22 番 7 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 C E O 森 久 保 哲 司
(コード番号：6165 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経 営 戦 略 室 広 報 I R 課 長 松 田 隼 人
TEL. 03-5753-3130

DHL のサステナブルな輸送サービス「GoGreen Plus」の利用による、 CO2 排出量削減に関するお知らせ

当社は、2023年10月より DHL ジャパン株式会社(以下、DHL)が提供する、持続可能な航空燃料(SAF、Sustainable Aviation Fuel)を使用した輸送サービス「GoGreen Plus」を利用しています。2024年4月にDHLが発行した発行証明書によると、当社は2023年10月から12月にかけて7.1トンのCO2排出量を削減しました。2024年は、当社は年間で従来比30%のCO2削減を目指しています。

記

1. GoGreen Plus について

GoGreen Plus は、DHL が提供する、持続可能な航空燃料 SAF の使用により、航空輸送に伴う CO2排出量を削減(インセット)する業界初の輸送サービスです。

SAF は、トウモロコシやサトウキビなどの植物や、飲食店や家庭で排出される廃食油など、持続可能な原料から製造されるバイオマス燃料です。通常、航空機で使用されるジェット燃料や航空ガソリンなどの化石燃料と比較して、SAF の CO2削減効果は、製造段階から消費までのライフサイクル全体で最大80%とされており、脱炭素化に向けて注目されている燃料です。

2. GoGreen Plus 導入の背景について

当社では、毎日日本から世界に高品質な金型部品を空輸しています。世界のものづくりを支える縁の下の力持ちとして豊かな生活を支えると同時に、環境負荷に配慮した輸送サービスを利用することで、より良い暮らしの実現と地球環境を大切にする社会づくりに貢献します。

3. 今後の取組みについて

当社では、2022年7月より、サステナビリティ委員会を設置しています。

サステナビリティ委員会は、代表取締役社長執行役員CEOを委員長とし、委員として業務執行取締役および執行役員を構成員とする組織です。サステナビリティに関する基本方針の策定やマテリアリティ(重点課題)の特定、マテリアリティごとの活動計画や目標設定ならびにその進捗管理、そしてそれらの情報開示に関する事項等の審議および業務指示を行い、定期的に取り締役会へ報告・提案を行っています。

また、同委員会の配下に、世界8カ国に製造・販売拠点を構えるパンチグループの部門横断チーム「タスクフォース」を設置し、各タスクフォースにおいて「CO2削減」「廃棄物削減」「人権尊重」に関する取組みを行っています。

これまでに、CO2排出量削減に向けては、工場において、LED 照明やヒートポンプエアコン等のエネルギー効率の高い設備導入、また、製品加工時に加工機から排出されるアルカリ廃液の排出量を削減するための、減容化装置の導入などを行っています。

今後も、GoGreen Plus の継続利用に加え、再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の追加導入などの検討を進め、世界中のお客様への供給責任を果たしながら、持続可能な社会の実現に向けた取組みを継続していきます。

当社ホームページ <https://www.punch.co.jp/>

当社サステナビリティサイト <https://www.punch.co.jp/csr/>

以 上